

地方創生に関するアイデア一覧（概要）

番号	事業名称	内 容	総合戦略 基本目標	アイデアに対する 取り組みや考え方
1	「Super チュードレン in 加古川スクール」の開校	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳時から小学校低学年を対象に未来の日本を背負う人材の養成を目的とした子供塾を開校 ・週末利用されていない小学校や公共の空き施設を活用 ・様々な特技や技能を持った市在住又は市出身の方が、自らの技能や知識・経験を広く子どもたちに伝える 	1 - (1) - 1 1 - (3) - 1	現在、学校区ごとに土曜チャレンジ教室や放課後子ども教室を実施しているところであり、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
2	ネウボラ加古川	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い・結婚・妊娠・出産・子育てまででなく、子どもの義務教育まで連続性を持った施設、子ども・子育て支援の拠点施設（ネウボラ）を設置 	1 - (1) - 1 1 - (3) - 1 1 - (5)	子育て支援については、祖父母の協力はもちろん、ボランティアをはじめとする地域との連携も大切と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
3	プロボノ加古川	<ul style="list-style-type: none"> ・学校園の放課後や土曜日等、空き時間を利用して職業人や元教師が地元の子どもたちに授業を行う 	1 - (1) - 1 1 - (3) - 1	現在、学校区ごとに土曜チャレンジ教室や放課後子ども教室を実施しているところであり、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
4	孫とおでかけ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・孫と一緒に利用できる様々な無料券や割引券等を配布 ・孫とおでかけを支援する 	1 - (1) - 1 2 - (2) - 1	子育て支援については、祖父母の協力は非常に重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
5	三世帯同居支援	<ul style="list-style-type: none"> ・市外から転入し、三世帯が同居するリフォーム物件や新築物件に補助金を出す（市民税等を2年間無料にする） 	1 - (1) - 1 2 - (3) - 3	本年度は地域消費喚起・生活支援事業として住宅改修補助事業を実施しました。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
6	マンション特区	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川駅周辺等へのマンション等の建設促進 ・大規模マンション建設時に子育てや介護施設等の設置義務を課す 	1 - (1) - 1 2 - (3) - 3	民間事業者による市街地開発事業の契機を捉えた事業展開は重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
7	チャイルドパートナー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館に「まちの保健室」を設置 ・社会福祉士や保健師を配置し、子育て相談だけでなく、高齢者の相談窓口も実施 ・公民館で活動するボランティアや子育てサークルと連携 ・地域包括支援センターにその役割を付加することも 	1 - (1) - 1 1 - (2) - 2 1 - (5)	子育て支援については、祖父母の協力はもちろん、ボランティアをはじめとする地域との連携も大切と考えます。地域包括支援センターのあり方も含め、今後の検討課題とさせていただきます。
8	大学生主催自習ルームの開設	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生が主体となり、小学生や中学生を対象とした自習ルームを定期的に開設 ・自由に勉強ができ、わからないことを質問できる 	1 - (3) - 1	提供側の継続的な体制作りが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
9	子どもを連れて行けるレジャー施設の事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・みとろフルーツパークの温室でインコやオオハシなど熱帯性の鳥など飼育する（例：花鳥園） 	1 - (2) - 2 3 - (2) - 2	見土呂フルーツパークについては、市内外からの観光・交流を促進する"賑わいと交流"の拠点としての再整備や利活用が図られるよう民間活力導入の可能性を検討します。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。

10	日本で一番！子育て支援する加古川市！	・児童手当以外に市独自の子育て支援（出産祝いなど）を行う	1 - (1) - 1	事業実施の必要性や緊急性、事業効果等について十分に検証する必要があります。今後の検討課題とさせていただきます。
11	中学生と社会の交流	・クラブ活動を地域の人と行う（1、2回/年）	1 - (3) - 1 2 - (1)	安全・安心のまちづくりの実現については、ボランティアをはじめとする地域との連携も大切と考えます。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
12	鶴林寺こども体験学習	・小学校3年生から6年生を対象に、国宝鶴林寺で集団生活を行う体験学習（掃除、写経、掃除、坐禅など）を開催	1 - (2) - 2	歴史文化の体験学習、滞在型体験学習・交流など、「体験」「学習」「交流」を目的とした着地型観光ツアーの開発と育成に努めます。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
13	かこがわ夏休みこどもマップ	・加古川地蔵盆マップ（市内の地蔵盆を地図にする） ・ハイキングや昆虫採集できる山を紹介 ・普段利用できない時間帯に公共施設（図書館やプールなど）を開館 ・競技場の芝生の上でキャンプ体験やナイトスイミングなどを実施	1 - (2) - 2	「かこがわ夏休みこどもマップ」については、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。普段利用できない時間帯の公共施設等の利用については、今後の検討課題とさせていただきます。
14	赤ちゃんのまち加古川	・子ども・子育てイベント（絵本作家のトークイベント、抱っこ美人コンテスト、ハイハイレースなど）の開催補助 ・ベビー用品メーカー（企業）の誘致	1 - (2) - 2 4 - (2) - 2	パパとママとベビーのコンサートなど子育てイベントの充実に努めているところであり、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
15	「日本一子育てをしやすいまちづくり」ドリームプラン・プレゼンテーション	「日本一子育てをしやすい街づくり」を実現する、夢（新規事業）のプレゼンテーション大会を開催 ・起業家の育成、ネットワークづくり、アイデアの創造などを実施	1 - (2) - 2	様々な地域課題を解決するために、市民や利害関係者が未来思考で対話し、変化を起こして行くための“場”の設置は有益と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
16	主婦が働きやすい加古川	・ハローワークの協力のもと、子育て主婦向けの求人情報を特集（紹介）	1 - (4) - 2	子育て期をはじめとしたライフステージに応じた多様な働き方を支援します。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
17	加古川市日本一計画	・日岡山公園に日本一の巨大迷路	1 - (2) - 2 3 - (2) - 2	日岡山公園を子育て世代のニーズに対応した子どもたちの夢はぐくむ公園として施設のリニューアルに取り組みます。今後の検討課題とさせていただきます。
18	地域の名人・匠発掘活用事業	・「我こそは名人！」という方を募集し、加古川市サポーターとして登録 ・お祭りや講演会など、あらゆる場面で活躍してもらう	2 - (2) - 1	地方創生の実現には、様々な世代が持っている知識やノウハウを生かして地域活動に参画し易くする仕組みのほか、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。

				たきます。
19	異世代間交流活性化事業（（）が○事業）	<ul style="list-style-type: none"> ・多世帯・大家族を奨励する施策、優良地にある農地が失われたりしている現状を緩和する施策を実施 ・地域で安心して子育てができる施設建設、イベント開催 ・地域の方が講師をする授業ができる仕組みを強化 ・互いが独立している「（）が○になる」「かっこが輪（和）」になる取り組み 	2 - (2)	地方創生の実現には、様々な世代が持っている知識やノウハウを生かして地域活動に参画し易くする仕組みのほか、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
20	行政の運営による市民のニーズマッチングサイトの立ち上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・「困った」を気軽に頼もう！「できる」ご近所サポーターズがサッと解決！をキャッチフレーズに、様々なニーズをマッチングするサイトを立ち上げる（例：エニタイムズ） ・空いた時間をスマートに活用し、社員でも派遣でもアルバイトでもない、新しい概念のワークスタイルのお手伝い ・昼間に共働き夫婦の子供を預かる、幼稚園に迎えに行く、外に出られないお年寄りの代わりに買い物に行く、家の草むしりなど 	2 - (2) 4 - (4) - 2	地方創生の実現には、様々な世代が持っている知識やノウハウを生かして地域活動に参画し易くする仕組みのほか、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
21	シンデレラバス加古川	<ul style="list-style-type: none"> ・夜 12 時に加古川駅発で各地域を回る深夜バスを走らせる 	2 - (3) - 1	市民の暮らしを守る公共交通の充実については、関係機関との連携を強化し、積極的に取り組む必要があると考えています。しかしながら、財政支出やバスの確保、タクシー事業者との調整など課題も大きいと認識しており、今後の検討課題とさせていただきます。
22	地域包括ケアシステム事業	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川西市民病院跡地を地域包括ケアシステムのモデルに ・回復期病棟や地域包括ケア病棟など、医療的ケアが必要な人の短期入所病棟などを備えた後方支援病院や定年化される夜間休日急病センターに在宅支援診療所を誘致 	2 - (2) - 2	西市民病院の跡地については、休日・夜間急病センターの設置や医療・福祉機能の誘致などを活用方針としています。事業者公募に向けた民間事業者との対話のなかで条件整理を進めていきます。
23	公園に健康遊具の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の公園に健康遊具を設置 	2 - (2) - 1	「ウェルネス都市加古川」の実現に向けた貴重なアイデアのひとつであり、今後の検討課題とさせていただきます。
24	地域ネットワーク構築プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のネットワークを構築 ・専門職が各町内会へ出向き、近未来の社会をどのように安心して暮らしていくことができるかを議論 ・住民一人一人が安心して暮らすために何をしないといけないのかを考える機会を作る 	2 - (2)	地方創生の実現には、様々な世代が持っている知識やノウハウを生かして地域活動に参画し易くする仕組みのほか、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
25	加古川中心部の交通ライフラインの強化事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・市の南の玄関口として、山陽電車尾上の松駅を整備 ・JR 加古川駅と尾上の松駅をバスで結ぶ 	2 - (3) - 1	市民の暮らしを守る公共交通の充実については、関係機関との連携を強化し、積極的に取り組む必要があると考

				えています。 今後の検討課題とさせていただきます。
26	カインドカードによる透明性の高い医療で全国から患者を呼ぶ事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・カインドカードを域外の人にも発行し、透明性の高い医療をアピール ・医療先進地として全国から患者を呼び込む 	2 - (2) - 2	医療機関相互の連携強化による地域医療体制の確立を図ることは重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
27	既成市街地活性化事業及び危険家屋対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・危険家屋除却事業を実施 ・中心市街地及び既成市街地の環境改善 ・駐輪場対策や子どもの遊び場に ・開発業者による土地利用 	2 - (3) - 3 3 - (1) - 1	地域住民との協働や民間団体との連携のもと、空き家・空き地バンクへの登録促進と登録物件の充実や空き家等対策基本計画の策定を通じて、空き家等の適正な管理と地域資源としての利活用を促進します。
28	エネルギーの賢い使い方(スマートコミュニティ)による安全・安心なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の跡地活用の際し、再生可能エネルギー等を活用したスマートコミュニティを導入 ・医療・福祉・防災とまちづくりとの連携が進み、地域活性化が実現 ・太陽光や小水力の再生可能エネルギーと蓄電池を組み合わせた災害停電時の非常用電源の導入 ・災害時の生活用水の確保にも寄与する蓄熱設備を導入 ・下水熱や地下水熱、地中熱、太陽光、河川水など、地域にある資源から熱や電気のエネルギーを取り出し活用することで地域エネルギー自給率を高め、CO2を削減する ・再生可能エネルギーの余剰電力は固定価格買取制度により売電し、同施設の運営コストを軽減する 	2 - (1)	現在、全国各地でスマートシティやスマートコミュニティにかかる実証実験や社会実験が進められています。また、ICT(情報通信技術)を活用したエネルギーの最適な利用については、今後のまちづくりに必要不可欠と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
29	マンション・アパート相互防災コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションやアパートの老人世帯と若い夫婦との相互扶助ネットワークの形成を支援 ・共働き家庭の子どもに不安なことが起これば、他の部屋へ連絡が取れるなど 	2 - (1) - 2	地方創生の実現には、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
30	狭い道を広くしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・街中の道路を広くまっすぐにする 	2 - (3) - 3	道路整備や区画整理には長期間を要し、土地所有者等の理解と協力が不可欠です。地域事業を踏まえ、今後の検討課題とさせていただきます。
31	国際都市加古川	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人労働者を積極的に受け入れる 	2 - (2)	県では、保育・介護等、福祉に携わる外国人人材の確保及び受入体制の充実について検討を進めるとのことです。国の動きや県との意見交換を通じて、考え方を整理していきます。
32	地域コミュニティを活用した空き家バンクの設置	<ul style="list-style-type: none"> ・長年住んでいる人や町内会の方が地域で問題となっている空き家情報を収集 ・町内会ごとに空き家の情報を管理、管轄する拠点を設ける 	3 - (1) - 1	地域住民との協働や民間団体との連携のもと、空き家・空き地バンクへの登録促進と登録物件の充実等を通じて、空き家等の適正な管理に取り組めます。
33	コミュニティ・キッチン	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地を整備して、ホームパーティやバーベキュー、茶会等ができる、手軽に集まれ楽 	2 - (2) - 1 3 - (1) - 2	地域住民との協働や民間団体との連携のもと、空き家等

		しめる場所を提供する		の適正な管理や地域資源としての利活用、古民家でつなぐ人の輪作戦（地域コミュニティハウスの設置）などに取り組みます。
34	美術館の開館	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な常設美術館を設置する ・使わなくなった公共施設や古民家をリノベーションする ・市へ寄贈された作品や地元企業や個人が保有する作品を展示する ・加古川出身の画家や彫刻家に作品発表の場を提供する ・資金調達に地元企業への協賛やクラウドファンディングを利用する 	<p>2 - (3) - 2 3 - (1) - 2</p>	<p>公共施設等総合管理計画を策定し、限られた財源で効果的な事業実施を行う必要があるため、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>なお、市へ寄贈された作品の活用や加古川出身のアーティストの発表の場の提供などに地元企業からの協賛やクラウドファンディングを活用することについては、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。</p>
35	加古川花と緑と水の回廊 構想 ウェルネス&パークシティへ	<ul style="list-style-type: none"> ・平荘湖、権現湖、みとろフルーツパークを一つの観光エリアとして再開発 ・権現湖は世界各国のツツジ園、平荘湖は花や緑の回廊、平荘湖と権現湖は水スポーツのメッカとする ・ウォーキングセンターをサイクル&ウォーキングセンターとして集客力のある洒落たカフェレストランに ・少年自然の家やO A A日岡ハイツを温泉施設に 	<p>2 - (2) - 1 3 - (1) - 2 3 - (3)</p>	<p>平荘湖や権現総合公園、見土呂フルーツパークの魅力を向上させることについては、観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えます。</p> <p>また、権現総合公園や見土呂フルーツパーク等については、市内外からの観光・交流を促進する"賑わいと交流"の拠点としての再整備や利活用が図られるよう、民間活力導入の可能性を検討します。</p> <p>なお、建築物関係については、公共施設等総合管理計画の策定を進める中で施設のあり方を検討します。</p>
36	ニッケのレンガ造りの工場を美術館に改装して保存する事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川を象徴するニッケのレンガ造り工場を美術館として保存し、文化発信拠点・観光拠点に 	<p>2 - (3) - 2 3 - (2) - 1</p>	<p>ニッケのレンガ造り工場は魅力的な地域資源であり、その活用は観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えます。</p> <p>なお、建物用途の転用などは、所有者の意向もあるため、課題は大きいと考えます。</p>
37	市民の市民による地域情報発信ウェブメディアの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川の魅力を共に発信できる狭域ウェブメディアを構築 ・市民ライターを募集し、自由に発信してもらう ・「まちの人財」の発掘、創出に繋げる 	<p>3 - (4) - 1 3 - (4) - 2</p>	<p>現在、FACEBOOK「かこがわプラス」を発行しています。</p> <p>また、観光まちづくり戦略において、加古川を愛する市民自らが投稿できるFACEBOOK「かこがわさん」を始めました。</p> <p>今後、民間のメディアを積極的に活用したシティセールスや本市に相応しいシティプロモーションに取り組むことで、市の認知度の向上はもとよりイメージアップに取り組めます。</p>

38	首都圏大学・学部誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前商業施設に首都圏の大学・学部を誘致 ・大学卒業後、市内に居住し就職する方を対象に住民税等の減免を行う ・市内企業でのインターンシップ制度を拡充し、毎年数名の就職枠を確保してもらう 	<p>3 - (2) - 1</p> <p>4 - (1) - 1</p>	<p>首都圏の大学誘致については、駅前商業施設の営業上の問題や限られた財源での対応など、課題は大きいと考えます。</p> <p>なお、市内企業におけるインターンシップの促進による若者の市内就労の支援については、取り組みます。</p>
39	—	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川に住みたいと思わせる街づくり ・寺家町や駅北に高層マンションを誘致 ・寺家町周辺の古民家や味わい深い雰囲気のある建物のリノベーションを期待 ・駅前にシンボリックな建物(例：多木洋館やニッケのレンガ倉庫)を移設する ・駐車場や駐輪場整備、道路整備、街路樹や公園整備も重要 ・財源確保には加古川バイパスの有料化(市民は無料) ・ニッケ社宅群を昭和村のようなテーマパークに 	<p>3 - (1) - 2</p> <p>3 - (2) - 2</p> <p>3 - (3)</p>	<p>空き家や空き店舗等を有効活用した拠点整備をはじめ、主要駅周辺の機能充実、観光資源や公園・緑地・親水空間の魅力づくりなど、地域ごとに特色のあるまちづくりを推進することで交流人口の増加につなげます。</p> <p>寺家町周辺の古民家や味わい深い雰囲気のある建物のリノベーションについては、今後の取組課題とさせていただきます。</p> <p>その他のご提案いただいた内容については、所有者が加古川市でないなど、課題は大きいと考えます。</p>
40	生徒・学生による活気あふれる商店街	<ul style="list-style-type: none"> ・利便性の良い古民家や古い商店街を借り切って、各高等学校と大学がアイデアを出し合い、様々なお店を運営 ・各校が顧客サービス、収益性、スタッフ管理等を競う 	<p>3 - (1) - 2</p>	<p>行政や地元企業が地元高校と地域研究や職業体験などに共同で取り組むことで、地元への愛着を育成し、ふるさと意識の醸成に努めます。</p> <p>また、地域ごとの特性に応じた空き家・空き店舗等の補助や新たな出店の支援など、都心・副都心における魅力的な商業機能の誘導や市内の地域拠点における都市機能の充実・強化を図ります。</p>
41	ええやろ、加古川(加古川の魅力創造プロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川に暮らす人が誇りを持てる、全国や海外から観光客が来て楽しんでくれるなど、加古川の魅力を発掘し、磨き、それを広く発信する 	<p>3 - (4) - 1</p> <p>3 - (4) - 2</p>	<p>現在、FACEBOOK「かこがわプラス」を発行しています。</p> <p>また、観光まちづくり戦略において、加古川を愛する市民自らが投稿できるFACEBOOK「かこがわさん」を始めました。</p> <p>今後、民間のメディアを積極的に活用したシティセールスや本市に相応しいシティプロモーションに取り組むことで、市の認知度の向上はもとよりイメージアップに取り組めます。</p>
42	加古川駅前商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前商業施設に大型ショッピングモールを建設 	<p>3 - (2) - 1</p>	<p>地域ごとの特性に応じた空き家・空き店舗等の補助や新たな出店の支援など、都心・副都心における魅力的な商業機能の誘導や市内の地域拠点における都市機能の充実・強化を図ります。</p>

43	別府川の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・一級河川別府川を人が多く訪れる場所として整備する ・休憩所や販売所など、設備面の充実も図る ・観光コース「小舟」を作り、観光客を誘客する 	3 - (2) - 2	<p>公園・緑地・親水空間の魅力づくりなど、地域ごとに特色のあるまちづくりを推進することで交流人口の増加につなげます。</p> <p>なお、別府川は加古川市の管理ではなく、県の管理河川となります。</p>
44	「オール千円の日」と「オール五百円の日」の創設	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月10日「オール千円の日」、25日「オール五百円の日」と定める ・市内商店や企業が、千円と五百円の目玉商品を考案し、市内各所で販売する ・市はPRでバックアップをする 	3 - (2)	<p>中心市街地の回遊性、界限性の創出を目的とした事業を実施します。</p> <p>市内商店や企業の主体的な取り組みが必要であり、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
45	動物病院の集合施設(ビル・広場・ストリート)の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・動物病院を誘致する ・ペットホテルやペットショップ、動物カフェなど、多くの動物病院が入居する複合施設を設置する 	3 - (2)	<p>ペットブームを捉えた提案であり、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
46	人寄せのできる常設イベントの拡大やプロモーションビデオの制作	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われるイベントを数多く企画する ・BAN-BANテレビなど各種メディアを活用し、市民に広く周知し、参画を促す ・お宝鑑定団 in 加古川、かつめし大食い競争、加古川河川敷ムカデ競走タイムトライアル、加古川産肉と野菜の大即売会、加古川出身著名人によるトークショーなど ・「加古川でこんな面白い企画をやっていますよ」PRビデオを作成し、ネットで配信する 	3 - (3)	<p>観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えます。</p> <p>市民の主体的な参画が必要であり、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
47	別府町の未来に向かってくらしを守る会	<ul style="list-style-type: none"> ・別府町南部地域の再度の区画整理事業を行うとともに、神戸製鋼や多木商事などの遊休土地の借り上げ(定期借地権を利用して)、50戸未満の集合住宅区域をつくる ・神戸製鋼所の余剰電力をその地域に単独に供給し、開発地域に入居した方の電気料金の低減を計るとともに、その地域のオール電化を進める。 	2 - (3) - 3 3 - (1) 3 - (2)	<p>安心して快適に暮らすことができる住環境の創出に努めます。</p> <p>また、ICT(情報通信技術)を活用したエネルギーの最適な利用については、今後のまちづくりに必要不可欠と考えます。</p> <p>しかしながら、別府町南部地域の再度の区画整理事業など、市民の理解と協力が必要であり、課題が大きいと考えます。</p>
48	ふるさと再発見ツアー	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川をよく知らない市民を対象に、魅力的な市内企業や工場、歴史的建物、神社・寺院など市民団体のツアーガイドを実施する ・ふるさと加古川を再認識する交流の場も提供 	3 - (3) - 1	<p>現在、市内公民館で開催されている地域学講座を卒業された方が、鶴林寺や地域の歴史的建築、神社・寺院などの市民ボランティアガイドとして活躍されています。</p>
49	観光大使「光姫」	<ul style="list-style-type: none"> ・9月4日を光姫(櫛橋家の姫→クシ橋→94)の日に ・光姫を「加古川市の観光大使」に任命 ・様々なイベント(光姫コンテスト、光姫踊り、光姫行列、光姫羽根つき大会、光姫案山子コンテスト、光姫仮装マラソン&ツデーウォークなど)を実施 	3 - (3) 3 - (4)	<p>NHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放映に合わせ、官兵衛の妻イメージキャラクター「てるひめちゃん」を特別加古川観光大使に任命し、結婚お祝い式をはじめとした様々なイベントを実施しました。</p> <p>さらなる有効活用等については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

50	二回目の成人式	<ul style="list-style-type: none"> ・将来、地域や各町内会、PTA を担う年、40 歳 になることを祝う事業を実施する ・20 歳の成人式の記念事業の企画などをサポートする 	3 - (4) - 2	40 歳の 2 回目の成人式など、周年記念イベントが全国的に広がりを見せており、ふるさとを見つめ直すきっかけになっていると聞きます。今後の検討課題とさせていただきます。
51	かつめし横丁	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川駅周辺で、加古川名物かつめしをはじめ、加古川和牛や志方牛の店ばかりの商店街を整備する 	3 - (2) - 1 3 - (3) - 1 4 - (4) - 1	地域ごとの特性に応じた空き家・空き店舗等の補助や新たな出店の支援など、都心・副都心における魅力的な商業機能の誘導や市内の地域拠点における都市機能の充実・強化を図ります。しかしながら、既存商店街における場所の確保をはじめ、加古川和牛や志方牛などの店舗集約化など、課題は大きいと考えます。
52	海外からの団体旅行者を加古川市へ	<ul style="list-style-type: none"> ・中国をはじめ、海外からの団体旅行を誘致する ・大阪→加古川市→鶴林寺→昼食(巻きずし・握りずし等を自分で作って食べる)→姫路城→夕食(加古川和牛のかつめし)→買い物(家電量販店・ドラッグストア)→市内ビジネスホテル泊→加古川産食材の朝ごはん→神戸 	2 - (4) - 1 3 - (3) - 1 3 - (3) - 3	播磨圏域で連携した広域観光周遊ルートの開発と充実により本市の特徴を生かした観光まちづくりを推進し、市内外から多くの人を惹きつける魅力あふれる地域づくりに取り組みます。今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
53	ドリームブランプレゼンテーション加古川(ドリブラ)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への新しいひとの流れをつくるアイデアを披露する ・市民が「集まる」きっかけと対話の場の創造、参加者がみんなで「つながる」仕掛けと人づくり、アイデアを事業化し「つくる」仕組みを提供する 	3	様々な地域課題を解決するために、市民や利害関係者が未来思考で対話し、変化を起こして行くための“場”の設置は有益と考えます。今後の検討課題とさせていただきます。
54	まある加古川	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物や特産品の販売が自由に販売できる場の提供 ・地酒の試飲・販売、郷土の B 級グルメかつめしの PR 販売、いかなごのくぎ煮の販売、調理法の実演・体験など ・県立農業高校の常設直売所の設置や種苗の販売 ・市街地からアクセスの良い八幡稲美 IC 周辺に用地を整備 	3 - (1) - 2 3 - (2) - 1	地場産業・6次産業化(農商工連携)による地域の活性化を目的に、未利用地を活用した“地場産市場(まちなえき)”の誘致をはじめ、農商工連携による「かこがわブランド」の創出や新たなビジネスモデルの構築を目指します。
55	復活「水郷都市加古川」事業	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川は瀬戸内海に流れ込む全河川水系でも五指に入る ・古来、その水を引き込むことによってまちの基盤をつくってきた ・水路群に親水性を付加し、倉敷や近江八幡に匹敵する水郷のまち加古川を復活させる 	3 - (2) - 2	公園・緑地・親水空間の魅力づくりなど、地域ごとに特色のあるまちづくりを推進することで交流人口の増加につなげます。今後の検討課題とさせていただきます。
56	地方創生アイデアを国際コンテストで募集する事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生のアイデアコンテストを実施する 	3 - (4) - 1	地方創生の実現には、様々な世代が持っている知識やノウハウを生かして地域活動に参画し易くする仕組みや、地域連携や官民協働、政策連携など新たな枠組みづくりが重要になると考えています。今後の事業展開を図る上で

				参考とさせていただきます。
57	県内工学部志望者の受け皿となる私立工学部の誘致事業案	・特色ある私立工学部を誘致して全国から学生を呼び込む	3 - (2) - 1	私立工学部の誘致などについて、限られた財源で効果的な事業実施を行う必要があり、今後の検討課題とさせていただきます。
58	加古川河口海釣り公園事業案	・加古川河口の突堤に海釣り公園を設置する	3 - (3) - 1	自然環境を活用した体験学習、滞在型体験学習・交流など、ニューツーリズムといった新たな観光・交流のあり方に注目し、「体験」「学習」「交流」を目的とした着地型観光ツアーの開発と育成により交流人口の増加に努めます。 海釣り公園の設置については、関係団体や関係機関との協議など課題が大きく、今後の検討課題とさせていただきます。
59	加古川の自然環境を利用し、太陽光発電設備を配置して発電する事業案	・水面にフロートを浮かせて太陽光発電を行う	3 - (4) - 1	湖面への太陽光発電設備の設置については、所有者や管理者の理解など課題は大きく、事業効果等について十分に検証する必要があります。今後の検討課題とさせていただきます。
60	カブト虫の森事業案	・カブト虫の森をつくる	3 - (2) - 2	権現総合公園や見土呂フルーツパーク等において民間活力導入の可能性を検討しており、今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
61	加古川を舞台にした映画を作る事業案	・加古川を舞台にした映画をつくり、加古川の素朴な良さを全国に発信	3 - (4) - 1 3 - (4) - 2	民間のメディアを積極的に活用したシティセールスや本市に相応しいシティプロモーションに取り組むことで、市の認知度の向上はもとよりイメージアップに取り組めます。 なお、加古川観光協会がロケ支援事業を実施することで、加古川を舞台にした映画やドラマ撮影を支援しています。
62	清流加古川に鮎を遡上させるプロジェクト事業案	・鮎の遡上を目標に清流加古川の水質改善を目指す	3 - (4) - 1 3 - (4) - 2	鮎は「きれいな川」のシンボリックな存在であり、「水質改善が進んでいる証拠」として認識しています。 今後の検討課題とさせていただきます。
63	魅力ある都市加古川を世界に発信する事業案	・加古川を個性ある魅力的なまちにして、そのイメージを世界に発信する	3 - (4) - 1	民間のメディアを積極的に活用したシティセールスや本市に相応しいシティプロモーションに取り組むことで、市の認知度の向上はもとよりイメージアップに取り組めます。

64	GK タウン構想 (Grand Kakogawa Town) & GK グルメ	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川河川敷緑地公園で定期的なイベントを開催する(将棋大会、大道芸、漫才、落語、ダンス、グルメフェアなど) ・寺家町商店街の空き店舗を借り上げ、客席や厨房などのモジュール化を図る ・市主催のグルメフェアを開催する(例:三宮地下街の麺ロード) ・加古川の新名物・新グルメの発案とコンテスト ・寺家町商店街を「道の駅」ならぬ「駅の道」として名物・名産・グルメ街道に仕立てる 	<p>3 - (2) - 1</p> <p>3 - (3) - 1</p>	<p>加古川河川敷でのバーベキューサイトの設置をはじめ、親水空間における魅力づくりに取り組みます。</p> <p>また、地域ごとの特性に応じた空き家・空き店舗等補助や新たな出店の支援など、都心・副都心における魅力的な商業機能の誘導を通じて、集客力の高い、子どもから高齢者までの幅広い世代が行き交う個性を生かしたまちづくりにも取り組みます。</p> <p>なお、定期的なイベント開催などについては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
65	自立創造型相互支援 社会創生プロジェクト ～ドリームプラン プレゼンテーション加古川(ドリブラ)～	<ul style="list-style-type: none"> ・地域への新しいひとの流れをつくるアイデア ・市民が「集まる」きっかけと対話の場を創造する ・参加者がみんなで「つながる」仕掛けと人づくりをする ・アイデアを事業化し「つくる」仕組みとプレゼンテーションで伝える 	3	<p>様々な地域課題を解決するために、市民や利害関係者が未来思考で対話し、変化を起こして行くための“場”の設置は有益と考えます。</p> <p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
66	「汽笛の間こえる 街・かこがわ」プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・JR 加古川線の利用促進と地元への経済効果を期待し、古くから鉄道の要衝として発展した蒸気機関車の汽笛の音を響かせる ・旧三木鉄道跡地の加古川市部分(主に厄神駅～旧国包駅間)を利用し、特定目的鉄道事業(関係法令:鉄道事業法施行規則第6条の2)としての簡易観光鉄道を敷設する ・旧加古川駅舎を再現した駅舎をつくり、加古川特産品の販売や市北部の観光案内機能を持たせる ・駅舎には、地元国包地区の建具職人の匠の技も取り入れ、地場産業の底上げとPRを行う 	3 - (3)	<p>事業実施の必要性や緊急性、事業効果等について十分に検証する必要があります。</p> <p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
67	加古川ホテルプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にある水路(加古川東高校横、加古川西高校前、加古川ランプほか)でホテルを育成する ・加古川は本流だけでなく、水路も美しく、水の都・五ヶ井の歴史を広くアピールする 	3 - (3) - 1	<p>公園・緑地・親水空間の魅力づくりなど、地域ごとに特色のあるまちづくりを推進することで交流人口の増加につなげます。</p> <p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
68	BAN-BAN! もっと もっと!	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の情報番組、じもぐる、これからどっこい、ワイド BAN、など、週一の更新で放送して欲しい ・加古川マラソンや駅伝の中継にドローンを活用し、生の臨場感を出して欲しい ・国道2号線や東播磨道、旧国道、明姫幹線をスタジアムとして活用し、二市二町を駆けめぐる駅伝を実施する 	<p>3 - (4) - 1</p> <p>3 - (4) - 2</p>	<p>BAN-BAN テレビとの連携のもと、地域の魅力情報発信については、積極的に取り組んでいます。</p> <p>2市2町を駆けめぐる駅伝については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
69	かこがわビーコン アプリコンテスト	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設にビーコン(iBeacon)を設置する ・アイデアソンやハッカソンを実施して、ビーコン技術の周知とアイデアを募集する ・アプリコンテストを実施して、市民生活に役立つITサービスを開発する ・オープンデータとの連携を図る 	3 - (3) - 1	<p>ビッグデータを活用した最先端 ICT の実証実験など、ICT(情報通信技術)を活用したまちづくりについては積極的に取り組んでいます。</p> <p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
70	新たな観光資源の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・神戸製鋼の夜景、浜洋館、水道橋、浄水場施設、ニッケ工場、稲岡工業などを加古川近代産業遺産 	<p>3 - (2)</p> <p>3 - (3)</p>	<p>産業ツーリズム、ヘルスツーリズムなど、「体験」「学習」</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 10景として選定し、市内外へ発信する 観光拠点間の既存道路を観光サイクリングルートとして指定する 市HPで魅力的な市内公園を紹介する 魅力ある新たな公園もつくる(日岡山公園を魅力ある公園として再整備する) 別府川を新たな親水空間として整備する バーベキューができる公園を整備する 	3-(4)	<p>「交流」を目的とした着地型観光ツアーの開発と育成により交流人口の増加に努めます。</p> <p>また、日岡山公園の再整備や加古川河川敷へのバーベキューサイトの設置など、公園・緑地・親水空間の魅力づくりや地域ごとに特色のあるまちづくりを推進することで、交流人口の増加につなげます。</p>
71	「ニッケ社宅」ショートステイ体験	<ul style="list-style-type: none"> 映画のロケ地になり、戦前の街並みを体感できるニッケ社宅の空き部屋での短期宿泊を可能にする 	3-(3)-1	<p>ニッケの社宅は魅力的な地域資源であり、その活用は観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えています。</p> <p>しかしながら、宿泊施設としての利用の可能性など、課題は大きいと考えます。</p>
72	加古川市の総合情報(ポータル)サイト k-mole(Kakogawa-mole:加古川モール)(仮称)の構築	<ul style="list-style-type: none"> 市のあらゆる分野の情報を包括的する「よろづ相談所」的な総合案内サイトを構築する 加古川の特産品や名物など、広く全国に販売できるショッピングモールを設置する 	3-(4)	<p>地域の観光情報やイベント情報、お店の情報などを総合的に取り扱う地域ポータルサイトや、佐賀県武雄市の自治体特選ストアをはじめ、複数の自治体が共同で運営するふるさと名物販売サイトが全国的な広がりを見せています。</p> <p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
73	見土呂フルーツパークを核とした「加古川ファームビレッジ」と「完全人工光型野菜工場」による地域の活性化と事業創生	<ul style="list-style-type: none"> 見土呂フルーツパークで「完全人工光型水耕野菜工場」を立ち上げる 生産物の販売収益が見込めるため、施設運営にかかる負担が軽減できる 加古川河畔までの畜産場や農業集落、農地を「加古川ファームビレッジ」として位置付け、地域農業者と官民共同型の体験型農業テーマパークとして活性化を図る 農業旧家や地元温泉を再興し、絵になる風景の創出と一日滞在しても飽きない環境を提供する 	3-(2)	<p>見土呂フルーツパークについて、市内外からの観光・交流を促進する「賑わいと交流」の拠点としての再整備や利活用が図られるよう民間活力導入の可能性を検討します。</p> <p>今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。</p>
74	ツール・ド・加古川 家ナリエ加古川 西日本最大の加古川コミケ	<ul style="list-style-type: none"> 加古川マラソンと双璧をなすスポーツの祭典 集落単位でアイデアをこらした年一回の飾りつけイベント 西日本最大のコミックマーケットの開催、誘致 	3-(3)	<p>全国大会など大規模スポーツイベントの開催や誘致促進をはじめ、交流人口の増加に寄与する大規模イベントの誘致について取り組みます。</p> <p>その他のご提案いただいた内容については、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
75	北部地域、自然を武器に！！	<ul style="list-style-type: none"> 北部地域に自然を活用した総合的な自然公園をつくる 	3-(2)-2	<p>権現総合公園や見土呂フルーツパークについて、市内外からの観光・交流を促進する「賑わいと交流」の拠点としての再整備や利活用が図られるよう、民間活力導入の可能性を検討します。</p> <p>今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。</p>

76	加古川の単独で活動する人間	・個人で活動している方（個性を生かし、意外な仕事を身近でする方）のための表舞台をつくる	3 - (3) - 1	具体的にどのような表舞台をつくるのかなど、課題は大きいと考えます。
77	サイクリング都市加古川	・一級河川加古川や平荘湖、権現ダムなど、北部の田園地域を結ぶサイクリングコースを企画する ・公共施設のトイレやシャワールーム、駐車場を公開する	3 - (3) - 1	観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えます。 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
78	加古川周遊観光バス「ウェルバス（仮）」	・加古川駅前発の観光バスツアーを企画、運営する ・一日周遊ルートをつくり、加古川の観光名所やグルメの紹介を行う	3 - (3) - 1	観光まちづくり戦略における貴重なアイデアのひとつと考えます。 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
79	加古川市見土呂フルーツパークサクセスプラン	・見土呂フルーツパークで「完全人工光型水耕野菜工場」を立ち上げる ・生産物の販売収益が見込めるため、施設運営にかかる負担が軽減できる ・加古川河畔までの畜産場や農業集落、農地を「加古川ファームビレッジ」として位置付け、地域農業者と官民共同型の体験型農業テーマパークとして活性化を図る ・農業旧家や地元温泉を再興し、絵になる風景の創出と一日滞在しても飽きない、ファミリーが楽しめる利用メニューづくりを行う。 ・周辺（見土呂地区・井野口地区等）の魅力を磨き上げ、「理想の田園都市の魅力」をアピールする ・みとろ荘の再生や庄屋屋敷を活用し、集落全体を観光地に	3 - (2)	見土呂フルーツパークについて、市内外からの観光・交流を促進する"賑わいと交流"の拠点としての再整備や利活用が図られるよう民間活力導入の可能性を検討します。 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
80	かこがわ七つ星	・五つ星ひょうごへの地元加古川名産品の登録を促進 ・かこがわ七つ星を発掘	3 - (4) - 1 4 - (3) - 2	ふるさと「かこがわ」名物の開発支援や販売促進など、農工商連携による「かこがわブランド」の創出を支援します。 また、ふるさと納税制度を活用して、本市の誇る地域資源を広く全国に発信することにも取り組んでいるところです。 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
81	権現湖総合公園をアウトレットモールに	・権現湖周辺にアウトレットモールを誘致 ・山陽道「権現湖 PA」に ETC 専用出口を設置 ・水辺の公園整備や加古川ならではの名産品を扱うアンテナショップや飲食店を設置	3 - (2) - 2 4 - (2) - 2	権現総合公園については、市内外からの観光・交流を促進する"賑わいと交流"の拠点としての再整備や利活用が図られるよう、民間活力導入の可能性を検討します。 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
82	加古川の天然鰻を市の名産物にする事業案	・天然鰻を加古川の名産物とし、清流加古川のシンボルに	3 - (4) 4 - (3)	ふるさと「かこがわ」名物の開発支援や販売促進など、農工商連携による「かこがわブランド」の創出を支援します。 また、ふるさと納税制度を活用して、本市の誇る地域資源を広く全国に発信することにも取り組んでいるところです。

				今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
83	「かこがわ」 「KAKOGAWA」市民 クルー拡大事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「かこがわ」では、河川の浄化を目的とし、地元企業団体に呼びかけ浄化のシステムの構築と実践 ・「KAKOGAWA」では、レガッタの国際大会レベルまでを目標とし、世界にむけた情報発信をはじめ、選手の育成、競技に関する備品の開発を行う 	<p>3 - (4) - 1</p> <p>4 - (3)</p>	河川の浄化システムや競技に関する備品の開発などについては、今後の検討課題とさせていただきます。
84	寺家町あさいち 又は 寺家町ひるいち よるいち でも可	<ul style="list-style-type: none"> ・地元でとれた野菜や玉子、さばいたばかりのトリ、牛肉、とれたばかりの魚など、地元食品を月1回で販売する ・志方牛、コロッケ、ローストビーフ丼、ハラミ、牛タン、かつめし、からあげ、鮭弁、焼き鳥、東播磨地域の水、日本酒など 	<p>3 - (1) - 2</p> <p>3 - (2) - 1</p> <p>3 - (3)</p> <p>4 - (3) - 2</p>	加古川市農林漁業祭において、市内各所で開催される地産地消のキャンペーンや各種イベントを広く紹介しています。(みとろフルーツパーク・フリーマーケットや有機・減農薬栽培朝採り野菜の販売、JA 加古川南フェスティバルや JA 兵庫南ふぁ〜みんフェスタなど) 今後の事業展開を図る上で参考とさせていただきます。
85	兵庫大学生の加古川 市定住化作戦	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫大学卒業生の定住化を推進する ・市外県外の兵庫大学生が加古川市に住む場合、5年間の家賃を補助する 	<p>3 - (4) - 3</p> <p>4 - (1)</p>	事業効果等について十分に検証する必要があり、今後の検討課題とさせていただきます。
86	県立農業高校の就農 率アップ	<ul style="list-style-type: none"> ・県立農業高校卒業生の就農率を向上させる ・就農後5年間の収入を補助する 	<p>4 - (1)</p>	現在、青年新規就農者(45歳未満)に対して給付金を給付する制度を実施しています。
87	JR 加古川駅南周辺の 商業活性化のための エリア指定開業借入 資金の利息補助とコ ーディネート事業。	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッケ、寺家町、ベルデモールに囲まれたエリアで新規に開業する方への借入資金の利息補助 ・地権者とのコーディネート ・老朽アーケードを撤去し、明るい山陽街道寺家町ロードへ ・小型車両の西行一方通行許可へ 	<p>3 - (1) - 2</p> <p>3 - (2) - 2</p> <p>3 - (3)</p> <p>4 - (4) - 1</p>	地域ごとの特性に応じた空き家・空き店舗等の補助や新たな出店の支援など、都心・副都心における魅力的な商業機能の誘導や市内の地域拠点における都市機能の充実・強化を図ります。
88	第5セクター	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決のための事業を複合し、一つの事業として実施し、費用対効果を大きくする組織、市が半数以上の株式を持つ法人(第5セクター)を設立する ・バラバラな施策を第5セクターと呼ばれる法人組織でまとめてコーディネートする ・子育て、農業、介護、福祉、産業創出など異なる施策に横串を通し、一つの事業として実施 	<p>4 - (4) - 2</p> <p>リーディングプロジェクト10</p>	地方創生の実現には、各部各課の枠を超えた従来の発想にとらわれないアプローチが必要となります。可能な限り、総合的かつ戦略的な事業展開が図られるよう取り組みます。
89	日本農業の持続発展 のモデル事業	<ul style="list-style-type: none"> ・働き手のいなくなった田畑を借り上げ、県立農業高校卒業生などのやる気のある若者を社員として雇い、効率的な農業を行う 	<p>4 - (1)</p>	加古川市では、JA 兵庫南とともに(株)ふぁーみんサポート東はりまを設立し、耕作放棄地の解消や新規就農者の育成に積極的に取り組んでいます。
90	オール兵庫ブランド によるカバン製造に よる各地場産業の活 性化事業案	<ul style="list-style-type: none"> ・加古川で育て解体した牛の皮を姫路でなめし、神戸でデザインして豊岡でカバンにし、オール兵庫ブランドとして世界に発信する 	<p>4 - (3) - 2</p>	加古川食肉センターで解体された牛皮は、専門の買取業者に卸されています。そうした牛皮が、なめし職人(姫路)により加工され、鞆職人(豊岡)で商品になっている物も少なからずあると聞きます。 今後の事業展開を図る上で

				参考とさせていただきます。
91	既存ポテンシャルの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・就農体験や市民農園を通じて市街化調整区域における耕作放棄地の活用を進める ・使われなくなった農業用水路に簡易な小水力発電を設置し、公園の照明灯や自治会館などの電力として活用 ・地場産靴下をフルオーダーできるホームページを立ち上げ、市内外へ地元靴下業者の生産力や技術力をアピールする ・靴下メインのファッションショーや地場産靴下コンペなどを開催する 	4 - (3) - 2	<p>就農体験や市民農園を通じた市街化調整区域における耕作放棄地の活用については、現在取り組んでいます。農業用水路の活用については、環境省が管水路用マイクロ小水力発電システムの実証実験を開始しており、そうした取り組みを注視していきたいと考えます。</p> <p>靴下や建具、食肉をはじめとした地域資源を生かした新商品開発や販路開拓、6次産業化（農商工連携）の支援に積極的に取り組みます。</p> <p>また、ふるさと納税制度を活用して、本市の誇る地域資源を広く全国に発信することにも取り組んでいるところです。</p>